



～2025-26年度主題～
 国際会長 エドワード・オン (SG) “Faith, Love, Action”
 アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさしC) “信念と愛をもって行動しよう！”
 東日本区理事 山下 真 (十勝C) “ワイズらしさ再発見”
 かながわ部長 兵藤 芳朗 (鎌倉C) “共に歩み 交流を深め、部の「絆」を強めよう”
 クラブ会長 坂口 直樹 “お互いを理解し誰かの役に立つ！”

今月の聖句

たゆまず祈りなさい。
 感謝のうちに、
 目を覚まして祈りなさい。

コロサイの信徒への手紙 4章2節

《巻頭メッセージ》

ロバート・エスキルドセン



数週間前、私は横浜の戦争孤児についての論文を読んでいた際、興味深い記述に目が留まりました。その論文では、1947年に日本厚生団（横浜市戦災者同盟の前身）によって設立された「ボーイズホーム」（現在の「子どもの園」）の成り立ちについて説明していました。設立に尽力した一人は奥村宏氏であり、奥村氏は横浜で長く商いを営んできた家系の息子でした。その回想記録の中で、ホームの建設資材を確保するために米軍と交渉した時のことなどを次のように振り返っています。「通訳は、紅葉坂の教会の息子さんで平賀さんという方でした。この方も実に親切で、よく通訳をしてくれました。」

ホームの計画が進む中で、平賀氏は奥村氏に自分が園長になつてもよいかと尋ねました。その際、日本厚生団のメンバーであり、同じく横浜に長く住むもう一人の方は、こう答えたそうです。「牧師の息子さんなら、クリスチヤンでも本物だし、こちらからお願ひしたいくらいだ。」この「本物の」クリスチヤンとは、長年、紅葉坂教会の牧師を務めた平賀徳造氏の息子、平賀孟氏でした。

平賀孟氏が高く評されたこのエピソードを読み、私は10年以上前に私の大学で開催された「日本の大学とキリスト教」についてのシンポジウムで聞いた話を思い出しました。基調講演を行ったのは国際日本文化研究センターの井上章一教授であり、講演のテーマは日本の大衆文化とキリスト教の関わりでした。深く洞察に満ちた、かつ魅力的なお話でした。

井上教授によれば、キリスト教は日本の大衆文化に多大な影響を与えてきましたが、その全貌は普段あまり認識されていません。また、日本の大衆文化においてキリスト教と仏教は対照的に扱われる傾向があり、キリスト教はしばしば仏教よりも高い道徳的基準を求められたり、洗練された文化の魅力的な源泉として見なされたりすることがある、と指摘していました。平賀孟氏は確かにそのような象徴であったのではないか、と私は思いました。

(以上)

クラブ役員一覧

会長	坂口	直樹
副会長	今城	高之
書記	今城	宏子
会計	鈴木	茂
直前会長	鈴木	茂
監事	辻	剛

1月のデータ



例会出席	11名	在籍会員数	16名
メンバー	9名	月間出席者数	9名
ビジター	—	メキャップ	1名
ゲスト	2名	月間出席率	62%

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

2026年1月本例会報告

辻 剛 記

日時：1月23日（金）18:00～19:15

場所：かけはし都筑（センター南）

司会：鈴木 茂

受付・記録：辻 孝子（辻 剛・代）

出席者：今城T/H、坂口、鈴木S/K、辻TS/TA、
三木、森山、

ゲスト：小西一也氏・小西道子氏

1. 開会点鐘 坂口会長により開会

2. ワイズソング・ワイズの信条を一同で唱和

3. 今月の聖句と祈禱 森山真治 担当主事

4. ゲスト・ビジター紹介

5. 会長挨拶（坂口会長）

就任から半年を振り返り、残り半年も引き続き尽力する旨を表明。ゲストの小西氏へ卓話への謝意を述べた。

また、先週のボランティア交流会に今城氏と参加したことにつれ、参加者が「相手の喜びこそ最大の報酬」と語っていた姿勢に深い感銘を受けたと報告。

6. クラブ総会

会則に基づき議長に坂口会長が選出され、定足数が確認されて議事を進行。

（1）議案：2026-2027年度クラブ役員選出

1月の事務例会で合意した候補者案が提案された。

なお、次年度より You & I コンサート主担当者・会計担当者を明確化する方針が了承され、今城Tと坂口がそれぞれ候補者に選任。

（2）議決

議案について賛否が問われ、全員の挙手により承認された。

7. 卓話

テーマ：「地球温暖化について考える」

卓話者：小西一也 氏

主な内容：

- 温暖化の話題は以前は懐疑的に受け止められることが多く、科学的根拠への疑問も多かった。

- 小西氏自身は特定団体に属するわけではなく、個人的関心から学び続けてきた。

- 2013年IPCC報告では「95%以上」の科学的コンセンサス、2021年の第6次評価報告書では「人間活動が温暖化を引き起こしていることに疑う余地はない」と明記され、理解が広がりつつある。

- 温暖化を広く体系的に理解している人は意外に少ない。アレニウスは130年前にCO₂倍増で気温5°C上昇を予測した先駆者である。

- 西日本豪雨など極端気象の増加は温暖化の影響とされる一方、ヒートアイランド現象は都市部の要因が大きく、温暖化とは区別される。

- 温暖化を疑問視する声はあるが、実際には9割程度の人が温暖化を認めていると考えられる。否定的な発言は社会的にマイナスとなる傾向もある。

8. 今後の行事予定

- TKB：2月18日（水）、3月18日（水）
@夢カフェ 13:30～15:00

- 2月事務例会：2月10日（火）@夢カフェ 17:30～

- 2月本例会：2月27日（金）17:00～@夢カフェ（ピンクシャツデー）

卓話：大江 浩 氏（P4参照）

- Y-Y's協議会：3月3日（火）@中央Y

- 次期会長・部役員研修会：3月14日（土）～15日（日）@御殿場東山荘

（今城高之／ブリテン報告者）

9. 活動報告・連絡事項

- 横浜YMCA（森山担当主事）：

2月11日（水）湘南つかYMCAにて会員大会（ピースフォーラム）を開催。

原爆被災者・青木清子氏の講演および平和プログラム報告を予定。

10. Happy Birthday

- 森山真治さん（9/27）

- 小西道子さん（ゲスト）

11. スマイル・アピール

スマイル実施。

2025～2026年度後期会費納入のお願い。

12. 閉会点鐘

坂口会長により閉会。

※センター南「土間土間」にて懇親会開催



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《会議報告》

2025-26年度かながわ部第2回評議会

坂口 直樹 記

開催概要

- 日時: 2026年1月17日 (土) 15:00~17:00
- 会場: 横浜中央YMCA 6階 606号室
- 出席者: 16名、委任状5通 (構成員28名の過半数出席で成立確認)

議事内容

1. 次々期部長候補者選任

横浜クラブの古賀健一郎氏を次々期部長候補者に選任 (満場一致で承認)。

2. 次年度部役員及び各クラブ会長について

横浜C	古賀健一郎	つづきC	今城高之
鎌倉C	池田光司	つるみC	久保勝昭
厚木C	徳澤洋子	大和Yサ	小松中史
金沢八景C (未定)			

◎ 部長	佐藤節子	(厚木C)
次期部長	古賀健一郎	(横浜C)
直前部長	兵藤芳朗	(鎌倉C)
地域・Yサ (主)	久保勝昭	(つるみC)
会員増強 (主)	黒川 勝	(八景C)
国際・交流 (主)	今城高之	(つづきC)
ユース (主)	若木一美	(鎌倉C)
書記	坂口直樹	(つづきC)
会計	古田和彦	(横浜C)

(※以上敬称略)

3. その他

横浜YMCA - ワイズ新年交流会

上記のかながわ部評議会終了後、横浜中華街廣東飯店にて、横浜YMCAとかながわ部による新年交流会が開催され (参加者: YMCA 7名、かながわ部各クラブ37名、他部ゲスト7名) 当クラブからは、坂口会長、鈴木茂ワイズ、今城高之ワイズ、森山担当主事が参加しました。鈴木茂ワイズ (かながわ部監事) の乾杯により開会し、佐竹総主事をはじめとする横浜YMCAスタッフ、ワイズメンズクラブ東日本区の山下真理事、近隣ワイズ各部からのゲスト、ならびにかながわ部各クラブメンバーとの親睦を深める有意義なひとときとなりました。また、佐藤節子次期かながわ部長より次期役員の紹介があり、当クラブからは、鈴木茂ワイズ (部監事)、今城高之ワイズ (国際・交流事業主査)、坂口直樹ワイズ (部書記) が紹介されました。

5月15日~16日に予定されている「かながわ部富士山例会」について議論。

- ・バス代の値上がりや参加者数確保が課題。
- ・記念植樹の代替案を検討。

報告・連絡

1. 部長報告

- ・鎌倉クラブ以外の公式訪問を終了。
- ・各種イベントへの参加報告。

● 事業主査報告

- ・地域奉仕・Yサ: 各クラブの地域課題を2月末までに報告。
- ・会員増強: 大和クラブで30代弁護士が新規入会。
- ・国際・交流: インド体験・交流プログラムを企画。
- ・ユース: ユースボランティアリーダーズ・フォーラムの成功報告。

● 各クラブ会長報告

- ・各クラブの活動報告 (例: 横浜つづきクラブのYou & I コンサート、鎌倉クラブの歴史散歩など)。

● YMCA報告

- ・クリスマス礼拝に199名参加。
- ・国際地域協力募金は目標800万円に対し635万円達成。

監事講評 (鈴木茂監事)

クラブ間の連携を強化し、合同行事への積極的な参加を呼びかけ。



(写真上) 新年交流会出席者全員による記念撮影では、新たに作られたかながわ部の「部旗」が改めて披露された。

(写真左) つづきクラブ出席者と仲間たち。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

1月17日（土）、菊名小キッズは生麦小学校を訪問し、生麦小キッズクラブの子どもたちとの交流活動を実施しました。本活動は、両校の子どもたちが学校の枠を越えて出会い、互いに関わりながら体験を共有することを目的として企画したものです。年明けに募集を開始したところ多くの希望があり、当日は26名の児童が参加しました。

菊名小学校は現在、校舎建て替え工事に伴い、約5年間にわたり校庭の使用ができない状況にあります。そのため、子どもたちは広い校庭で十分に体を動かす機会が限られています。当日は生麦小学校の校庭をお借りし、サッカーやドッジボール、遊具遊びなど、日頃は難しい外遊びを思いきり楽しむことができました。広々とした校庭でのびのびと走り回る子どもたちの姿が印象的でした。

また、昼食や室内遊びの時間には自然な交流が生まれ、遊び方を教え合ったり、共通の遊びを通して親睦を深めたりする様子が見られました。普段とは異なる環境での活動や他校の仲間との出会いは、子どもたちにとって新たな発見と学びにつながる貴重な機会となりました。

今後もこのような交流を通して、子どもたちの豊かな経験と成長を支える取り組みを継続してまいります。



『TKB便り』 東日本大震災の被災地、宮城県山元町の高齢者施設と保育所に送る誕生カードの作成を中心に、TKBお仕事会を開催。寒さもあって、参加者が少なかったが、受け取って頂くお年寄りや子どもたちの笑顔を思い浮かべながら手と口を動かしました。



『卓話のご案内』 2月27日（金）に開催のクラブ例会では、社会福祉法人賛育会「赤ちゃんの命を守るプロジェクト」事務局長 大江 浩さんによる卓話「赤ちゃんの命を守るプロジェクト」～すべての命を守るために～が行われます。

大江さんは、神戸YMCA、横浜YMCAで奉職された後、日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）他に携わられ、2023年より賛育会に参加され現在に至っておられます。

クラブメンバーの皆様は、是非お友達、ご家族などお誘い併せてご参加ください。ブリテン読者の皆様も、是非ご出席くださるようご案内します。

日時 2月27日 15:30～

場所 夢Café（センター北駅前）

ご出席いただける方は、当クラブメンバーにご一報ください。以下アドレスにご連絡頂いても結構です。

timajo913@tuba.ocn.ne.jp
(Tel: 090-2669-3092)



大江浩さん

《例会報告》

2026年2月度事務例会

今城 宏子 記

日時：2026年2月10日（火）17:30～19:00

会場：夢カフェ

出席：今城T・H、坂口、鈴木K・S、森山

1. 開会点鐘

坂口会長

2. 会長挨拶

坂口会長

3. 協議事項

1) 若木かながわ部 地域奉仕・Yサ事業主査からの依頼について以下の2点について、会長より報告があった。

- ・地域奉仕に関する課題の提出
- ・当クラブの本年度活動における地域奉仕施策および課題

2) つづきクラブ設立20周年記念会案について

鈴木茂ワイズより実施案、役割案の提示があった。招待者への案内方法や案内先について意見交換を行った。

3) 2月以降の役割分担の変更について

体調や仕事の都合により、以下の通り役割を変更した。

- ・2月本例会 受付・報告：今城高之
- ・5月本例会 司会：坂口直樹

4) ウクライナ避難民支援について

火事により家財を焼失した避難民家族の件で、管轄する自治体との関係もあることから、状況がより明確になってから検討を進めることとした。

4. 今後のクラブ行事予定

1) TKBカード作り @夢Café

- ・2月18日（水）13:30～
- ・3月18日（水）13:30～

2) 2月本例会

- ・2月27日（金）17:30～
- ・会場：夢カフェ
- ・ピンクシャツデ
- ・卓話：大江浩氏（予定）

3) 次期会長・部役員研修会

- ・3月14日（土）～15日（日）
- ・会場：御殿場東山荘
- ・出席：今城高之ワイズ、坂口直樹ワイズ

4) 北Y・ワイズ懇親会

- ・5月23日（土）18:30～20:30
- ・会場：菊名
- ・参加者：北YMCA職員、北YMCA運営委員会、つるみクラブ、つづきクラブ 各メンバー

5) 5月の例会について

かながわ部「富士山例会」（5月15～16日）および上記懇親会の開催に伴い、

- ・5/12 事務例会および 5/22 本例会は中止
- ・5月23日（土）16:00～17:30 に北YMCAにて事務例会を開催することとした。

5. YMCA・部・他クラブ関連

1) 横浜YMCAピースフォーラム

- ・2月11日（水・祝）10:00～12:30
- ・会場：とつかYMCA

2) 後期区費・各種献金納期

- ・2月15日（日）
- ・担当：鈴木会計

3) 2026年度ボランティア保険契約（4月～翌3月）

- ・担当：坂口会長

6. 閉会点鐘

坂口会長

☆付記

TOFを覚えつつ、おにぎりと豚汁をともにいただき、献金をさげた（カップケーキ付）。



ワイズメンズクラブでは、2月をTOF強調週間と定め、実践を奨励しています。

TOFとは、“Time of Fast” 即ち断食の時という意味で、飢餓や困難な状況にある人々を覚え、日常的に食事がある私たちが食事を抜く・質素にすることで、普段の食事代をTOF献金と委してクラブに寄付する行為です。

「飢えている人に心を配り、苦しめられている人の願いを満たすなら、あなたの光は、闇の中に輝き出で、あなたを包む闇は、真昼のようになる。（イザヤ書58章10節）」とのみ言葉を実践するために提唱されたワイズメンズクラブの特色ある活動の一つです。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《つるみクラブ “おめでとう！”》

2月12日に開かれた、横浜つるみクラブ（久保勝昭会長）の例会では、新たに二人の新入会員の入会式が執り行われました。会員増強が危機的状況を呈しているワイズメンズクラブで、「かながわ部」も例外でない中、一度に二人の入会式が行われるのは極めてまれなことでもあることから、かながわ部の兵藤部長をはじめ大勢の仲間が駆けつけ一緒に新会員の入会を祝いました。

新入会員は、小崎侑里子さん、後藤美紀さんのお二人です。かつては我々のクラブのメンバーで、つるみクラブを立ち上げられた久保さんには大変嬉しい例会であったものと思われます。 (TI 記)

(TI 記)



《鎌倉クラブチャリティーコンサート》

去る2月14日、鎌倉クラブが主催するヘルマン・ハープのコンサート（チャリティー）が市内の「婦人子供会館」で開催され、当クラブより、鈴木茂、今城高之両ワイスが参加しました。鎌倉クラブの板崎さん他5名の方たちが奏でるヘルマンハープの素朴で透明感のある音色に、寒い天候の中ながら心が暖められる思いをしました。

(十一 記)



《輪和Waコンサート85ご案内》

大和YMCAライフサポートセンターが主催する、第1回を100として今回が第85回（16回目）となるコンサートが来る3月14日（土）に開催されます。私たちの「You & I コンサート」は、このコンサートに倣って始められたもの、いわば、You & I の師匠ともいべきコンサートです。

しかも、今回は、You & Iでおなじみの「横浜室内合奏団」が出演することから、クラブメンバーの皆様も是非ともご来場いただきますようご案内いたします。

日時 3月14日（土）開場13:00、開演13:30

会場 大和市保健福祉センター・ホール

▽1月に開催したクラブ総会で次期役員の陣容も決まり、ひと安心というところではあります、健康を害しているメンバーも多く、例会に参加できない人がいるのは誠に残念なことです。全てのメンバーが一日も早く健康を回復されお元気になられて一堂に会する日が来るの願っています▽つるみクラブの入会式、鎌倉クラブのチャリティーコンサートに編集子も参加させていただきました。仲間たちが元気に、様々なプログラムに取り組んでいるのを見ると、本当に元気づけられます▽我々のクラブの恒例プログラムとして行ってきた「富士山例会」は「かながわ部」のプログラムとして続けられることとなりました。嬉しいことです▽河津桜の開花も伝えられ、少し春めいたしやすい時です。皆様、くれぐれもご自愛ください。